

Qualcomm社との 合併会社設立・協業拡大の合意 及び当社の成長戦略

2016年1月13日
TDK株式会社

◆プレゼンテーション

説明者：代表取締役社長 上釜健宏

- 高周波部品事業の合併会社設立及び協業拡大
- 当社の成長戦略

◆質疑応答

■ Qualcomm社と高周波部品における合併会社設立

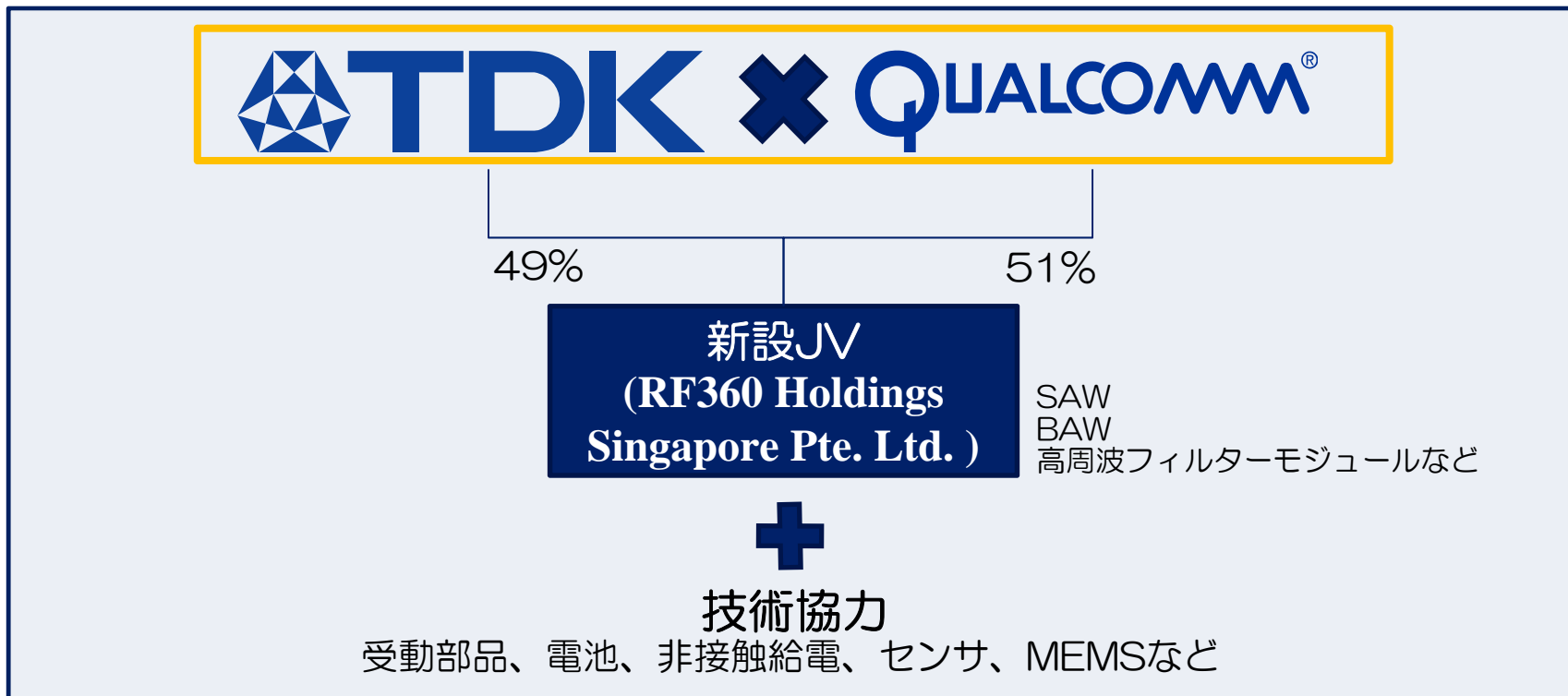
- 当社は、Qualcomm社との間で高周波部品の提供を行う合併会社の設立に合意。
- 当初の合併会社持分は、当社49%、Qualcomm社51%となり、フィルタやモジュールの設計や製造に関わる資産、関連特許はTDK及びその子会社からカーブアウトされ、大部分は合併会社により取得され、一部の資産についてはQualcommが直接取得。
- 契約締結日より30ヶ月後に、Qualcommは残りの株式を取得するオプションを、TDKは売却するオプションを保有。
- Qualcommが、合併会社のTDK持分を取得するオプションを行使した場合、もしくはTDKが持分を売却するオプションを行使した場合、譲渡価値の総合計はおよそ30億USドルの見込。

■ Qualcomm社との協業深化

- TDKとQualcommは合併会社の設立に加え、受動部品、電池、非接触給電、センサ、MEMSなどを含む広範囲な最先端技術に関し、技術協力を拡大することで合意。

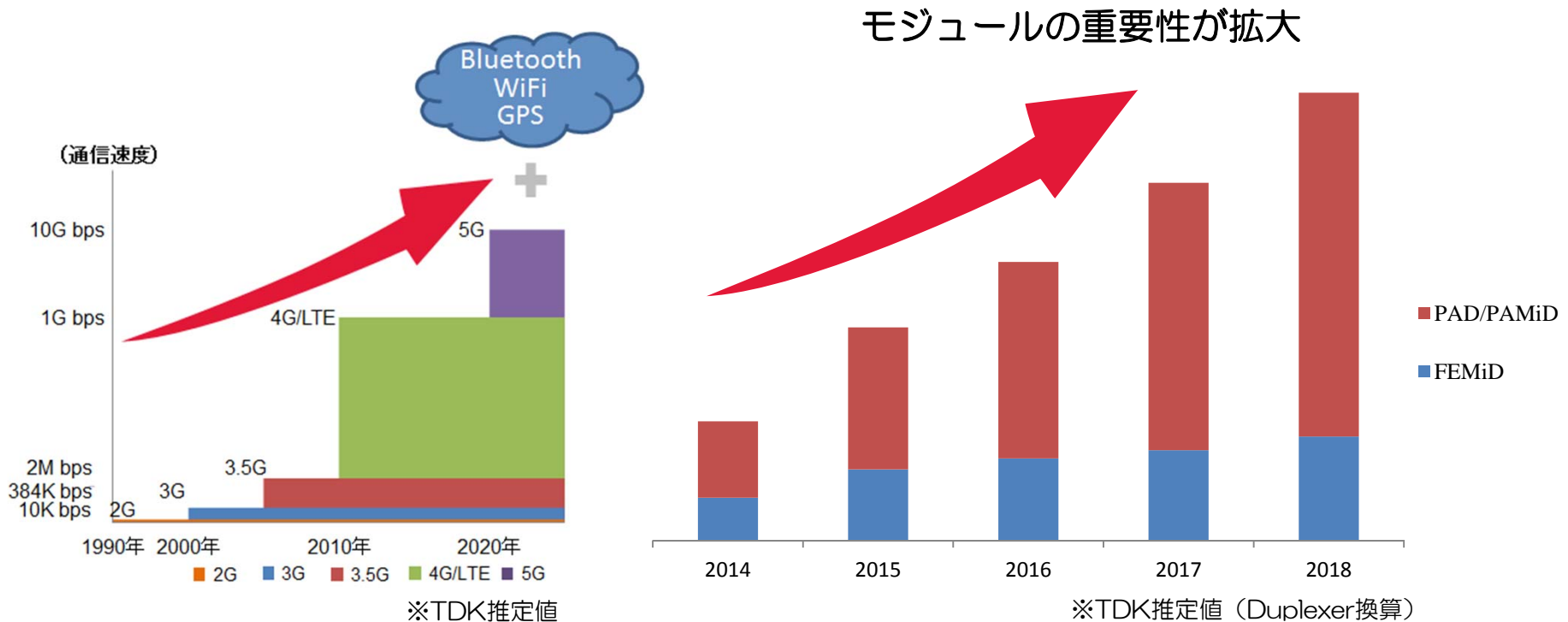
高周波部品事業の合併会社設立及び協業拡大 (JVのスキーム)

両社の設計、製造および営業に至るバリューチェーン上の強みを融合し、次世代技術とニーズに対応できる最強の事業体を目指す。



次世代モバイル通信のエコシステムに対する完全なRFトータルソリューションの提供 → 既存得意先 + 新規得意先

モバイル通信の発展及びIoTへの対応により、高周波部品に求められる対応周波数帯は年々増加し、モジュール化への更なる要求も高まっている。



PAMiD: PA Module with integrated Duplexer
FEMiD: Front-End Module with integrated Duplexer

QualcommはIoT市場へ向けて、Smartphone以外でも
グローバル市場でのキープレイヤーとなっている

Product announcements

Recap

Smartphones

- Snapdragon 820
80+ designs
- Letv with Snapdragon 820
and Qualcomm®
Snapdragon Sense™ ID



Networking

- Robust Wi-Fi 11ad
ecosystem momentum
- Wi-Fi SON
comprehensive platform

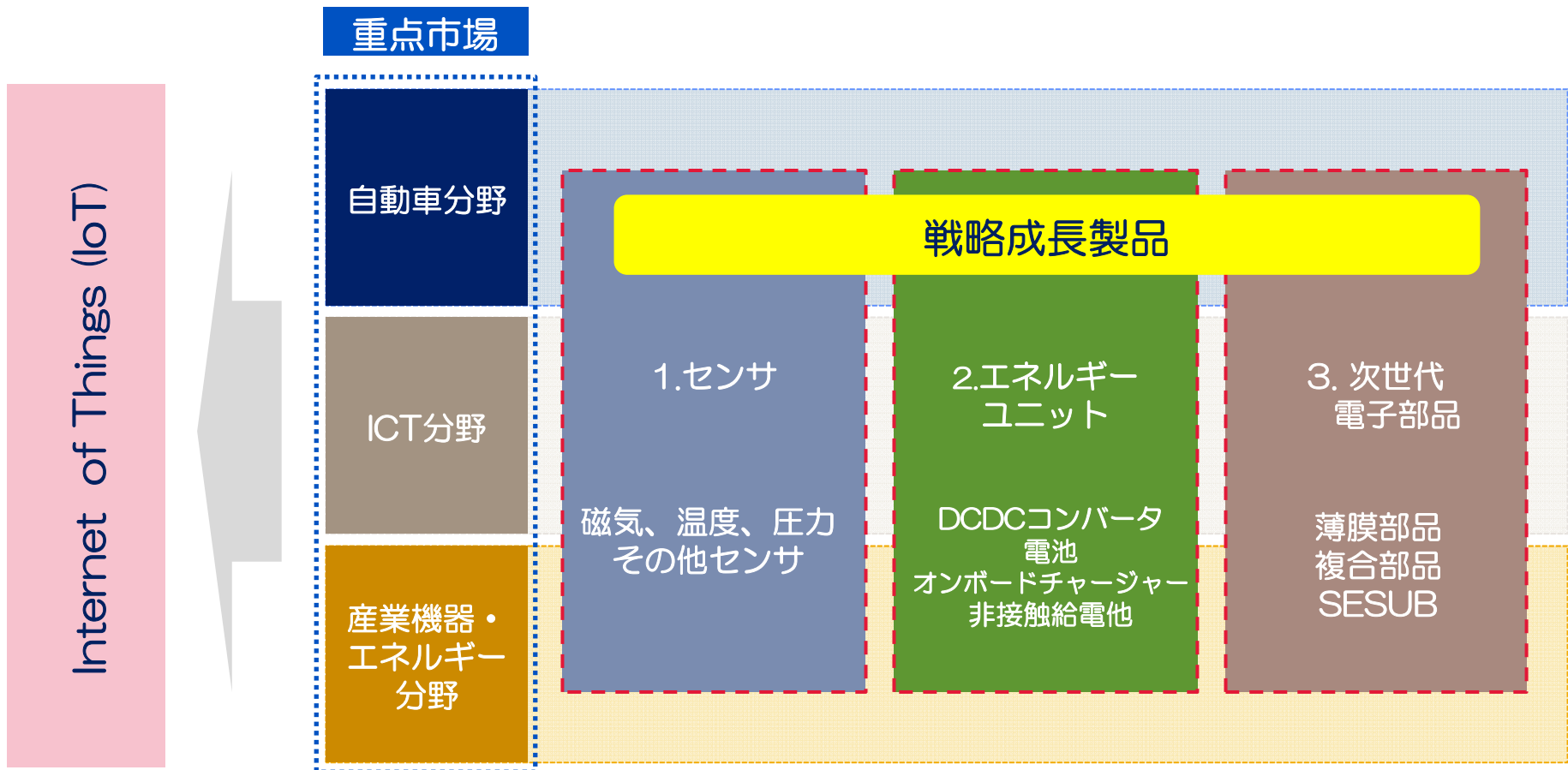
Automotive

- Audi + Snapdragon
602A Automotive Processor
- New Snapdragon 820
Automotive Processor

IoT

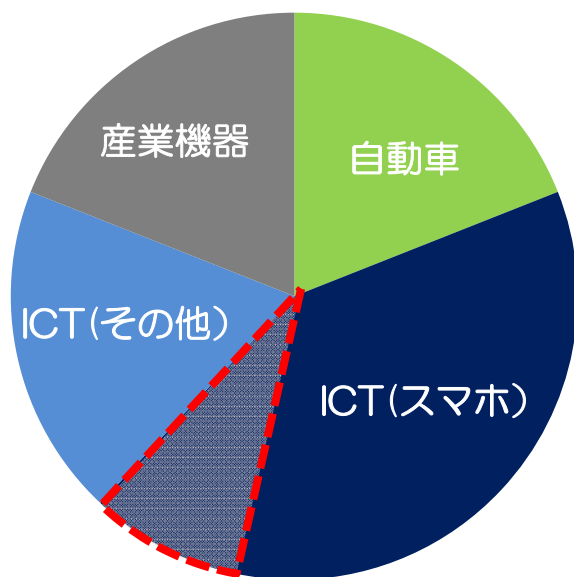
- Complete family of
4G LTE modems for IoT
- Snapdragon 212 Smart
Home Reference Platform
- Tencent, ZERO TECH
and Snapdragon Flight
- CSR102X Bluetooth
Smart SoC
- aptX HD
- Novartis connected inhaler

Qualcomm社との協業体制強化によって戦略成長製品の拡大を加速
⇒重点市場を通してIoT市場における事業機会獲得



Qualcommとの協業体制の強化

現状（売上）

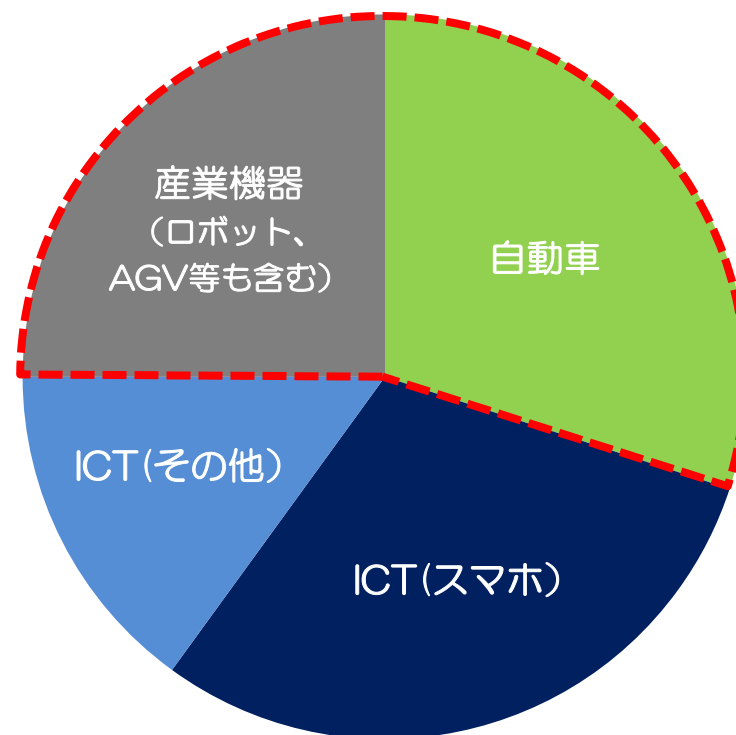


本件対象事業

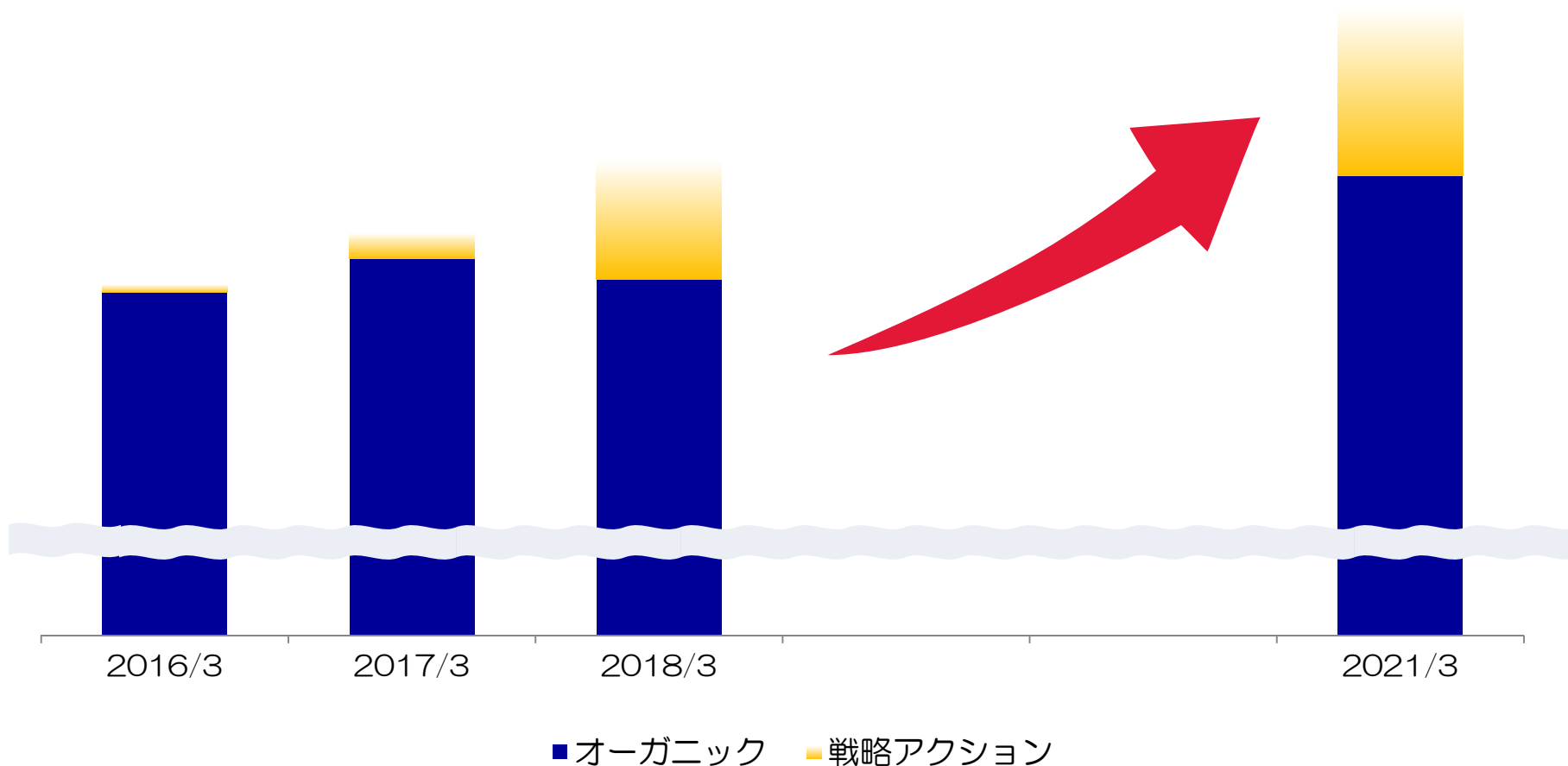
経営資源の
再配置



5年後のイメージ

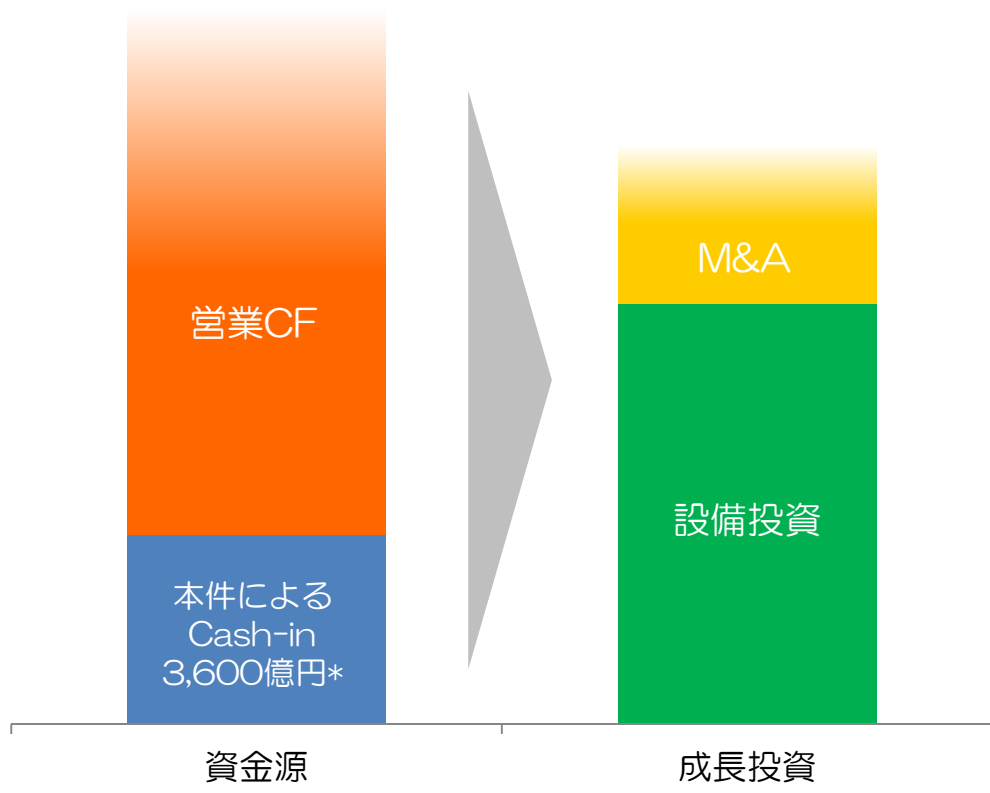


オーガニックと戦略アクションによる成長イメージ（売上）



成長投資及び資金源

中期経営目標



- 株主還元**
- EPS成長を通じ安定配当、増配
 - 配当性向30%目標

- 成長投資**
- 新製品、新規事業への投資、M&A
 - 既存事業の生産能力増強

	2015年3月期実績	2018年3月期目標
営業利益	6.7%	10%以上
ROE	7.2%	10%以上

* USD = JPY 120

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

